

四谷の

# 千枚田だより



第 267 号



## 令和七年を振り返って

記憶を記録に：

一月九日 未明から雪降り五センチ積る  
二十七日 三遠南信サミット 三河に参加(豊橋芸術劇場) 三十日 牧野利香愛知県副知事来訪 二月一日「愛知東子ども農学校開校二十周年記念式典 記念講演 三日 ヤマアカガエル産卵 五日 神星工業千枚田で地域貢献について 市鳳来地域課を交え打合せ 七日 直払い稲作勉強会 講師「愛知東高木係長 十三日 強風(春一番?) 十四日 鳳来寺小学習発表会招待 二十日 千枚田 古宿荒廃農地の草刈り(サル対策) 中村直人 舜二 二十七日 直払い役員選出 三月一日 保存会理事會 五日 千枚田 古宿の栗の木伐採(サル対策 結果：近辺の被害もな く効果大) 中村直人 小山秀夫 舜二 八日 ワークショップ「背中養作」 伊藤健司主導 原田八重子さん講師 八名参加(古民家カフェにて) 十二日 横浜ゴム 第十一回生物多様性パネルディスカッション視聴 十四日 梅の開花 昨年より遅い 十五日 直払い総会 二十一日 改正棚田法案 衆議院で本日午後可決(農水省柴崎課長補佐より) 二十五日 四谷の千枚田地域振興協議会総会 市民センターほうらい 四月三日 横浜ゴム新城 工場新人幹部

社員研修 十六日 ハブニングスイス人千枚田作業道にキャンピングカー侵入 仮設トイレで走行不可 脱出まで三時間かかる 十九日 保存会理事会 二十一日 仏法僧初鳴き 二十二日 千枚田荒代掻き始まる 水不足で難儀 二十三日 恵みの雨(水不足解消) 二十五日 鳳来寺小五年生 稲作体験のお礼の文集届く 二十七日 県新城設楽農林水産事務所若手職員(S研プロジェクト)による荒代掻き 二十八日 千枚田入口に「集落あり」の啓蒙看板 市鳳来地域課により設置 同日 子ども農学校 湯水で代掻きの水不足のため合戸川からタンクで搬送(皮肉にも十四時以降降雨) 五月一日 S研プロジェクトの田植え 八日 豊橋調理製菓専門学校の田植え 十一日 ヤマサちくわの田植え 十五日 鳳来寺小の田植え 十七日 保存会総会 二十一日 千枚田細尾でヤマビル確認 二十六日 欽ちゃん香取慎吾の仮装大賞でお馴染み毎年七月千枚田にリアル案山子を設置頂くチーム TAKO(設楽町津具)が大阪万博にレジェンドとして出演 三十一日 保存会環境保全活動(お田植感謝の夕べを視野に) 六月五日 豊橋調理製菓専門学校 田の草取り&梅取り 七日 お田植感謝の夕べ(大賑わい五百人を超す)「愛知東のご厚意で旧連谷小学校グラウンドを

シャトルバス運行 十日 岡崎信金広報誌の表紙に写真提供 十三日 中日新聞ショッパ―季刊号に写真提供&校正 二十二日 三遠南信住民ネット総会 二十五日 三遠ファミリーヒストリー渡辺いつけい取材対応 七月六日 リアル案山子設置 九日 アフリカ農学研究者受入れ名大・ITCA 十一日 中部環境五市サミット 新城参加 十八日 ホウライジユリ咲きだすものの千枚田はサルに花芽を食べられてしまった 同日 ミネアサヒ出穂確認 二十五日 ホンダカーズ取材対応(市鳳来地域課と) 同日 ふれあい広場補修要望(市鳳来地域課) 八月四日 県公報「2025 愛知の住みやすさ発信」取材対応(市鳳来地域課と) 五日 県新城設楽山村振興事務所 愛知大 学学生受け入れについて 八日 サル軍団(三十五匹)田んぼに侵入 稲穂を食べる被害甚大 九日 三連休千枚田賑わう 十日 サル対策に爆音機設置 十八日 高浜市先進地視察対応 市請井課長ほか 同日 シカ侵入対策に沢沿いの橋に防護金網を設置 二十一日 内閣府地域活性化伝道師実績報告 九月二日 稲刈り始まる 四日 未明 イノシシ田んぼに侵入 被害大 十日 三連休千枚田賑わう 十一日 横浜ゴム新城工場主催 外来植物(アメリカセンダングサなど)駆除活動 官民約三十名参加 十四日 ヤマサちくわ稲刈り 二十二日 鳳来寺小の稲刈り シカサルイノシシの被害で半作以下 十月一日 内閣府地域活性化伝道師任命 二日 保存会役員会 書面決議 十月六日 三遠南信サミット

南信州 参加 九日 豊橋調理製菓専門学校 脱穀稲架にシカ、イノシシが付き、稲を引き抜かれ大減収 東海農政局愛知拠点三名 市鳳来地域課二名 県一名が指導 十一日 東郷西小三年生校外学習の受入れ 二十一日 丸八製菓 コメ出荷 二十三日 四谷の千枚田絵画コンクール審査(応募四百九十九点) 二十六日 奥三河トレイルランニング雨中止 同大会に備えた会場整備に 二十四日 横浜ゴム新城工場社員の会場整備活動 二十五 二十六日の両日 愛知大学学生六名の大会ボランティアも大会中止、その対応に千枚田概要説明、市立鳳来寺山自然科学博物館見学を実施 二十八日 市立千郷小三年生四十名 校外学習「見つけよう！新城のステキ」対応(裏面参照) 二十九日 市内池場地内 ツキノワグマ捕獲 十一月一日 二日 全国棚田(千枚田)サミット 別府 田中幸夫 丸地典利 松下 誠 小山舜二参加 四日 江口愛知副知事来訪 頻繁する害獣被害の対策を要望 同日 愛知大学センター長ほか対応 十三日 収穫感謝祭チラシ田発信 十四日 農水省 全国棚田行脚スタンプラリー 市鳳来地域課を窓口に了解 廿日 今季一番の冷え込み(約一週間前には夏日 秋がなく冬となる) 二十一日 愛知県ふるさと水と土指導員全体会議(岡崎市千町楽校で開催) 原田英史 小山舜二出席 二十二日 四谷の千枚田カレンダー(丸八製菓作製)配布 十二月四日 未明から早朝に雪降り 千枚田雪化粧 昨年より廿日早い冠雪 六日 第六期中山間直接支払い全体会議 十四日 収穫感謝祭

## 令和七年度ふるさと・水と土指導員連絡会議

令和七年十一月二十一日、千万町楽校(岡崎市千万町町)で開催、指導員は千万町・木下ふるさとづくり委員会ほか五名、鳥川ホタル保存会二名、桑原棚田の景観を守る会一名、鞍掛山麓千枚田保存会 原田英史、小山舜二、行政は岡崎市、新城市各一名、西三河農林水産事務所建設課三名、豊田加茂同一名、新城設楽同一名、農地計画課一名の計十八名の出席のもとに会議が行われた。



冒頭、本年度担当の西三河農林水産事務所建設課加藤課長の挨拶に続き自己紹介(指導員は近況報告・課題を含めて)を和気あいあいと行い、まず、力を抜いた。続いて木下・千万町地区じさんじ

よの会の萩野指導員が「二十年の活動を振り返る」と題して旧千万町小学校を千万町楽校として活用、年間十二件を超す「イベントを中心に活動」の場(地域住民+岡崎市民・都市住民) 交流から関係人口の創出へ「移住・定住」をパワーポイントで発表があった。知見として活気あふれる「むらづくり」の効果か? 千万町町には移住定住受入れの空き家が無いとのこと、我が旧旧海老町は商店もほぼ無いに等しいし、空家街道化が蔓延している(怒らないでん)。

追記:鳥川ホタル学校は旧鳥川小学校をリノベーション。大林の古田忠久(ホタルの)先生の功績が大きい。意見交換では近況報告を中心に闊達な議論がなされたが、やはり、中山間地における害獣被害とその対策が大きな課題であった。来年は新城設楽管内で開催予定。

ふるさと水と土指導員とは? 地域の活性化に理解と熱意を持つて取り組み、地域住民の人望が厚い方を市町村長から推薦、「ふるさと・水と土保全対策委員会委員長が「ふるさと水と土指導員」として任命。全国研修を経て、地域住民活動のリーダーとして、また、それぞれの地域で実施する活動に対して、「ふるさと水と土指導員活動支援事業」により、活動費の助成が行われる。

## 集落協定総会

多面的機能発揮促進事業 第六期中山間地等直接支払制度四谷集落協定全体会議が十二月六日、連谷会

館で開かれた。

同協定の実施体制については、前もって行われた役員会で決められた議題(案)に沿って代表から事細かな説明がなされ、その確認の結果、すべての議事が可決された。

協定構成員二十三名

代表 表村雲伸一 副代表 小山孝夫  
会 計 林 義明 書 記 田中幸男  
共同取組担当 原田佳治 伊藤健司  
高橋賀津男 小山泰徳

一月十七日(土)八時半 第二駐車場

予備日 翌日

## 子どもたちからの礼文(文集)

十月二十八日、市立千郷小学校三年生(四十名)が総合的な学習「見つけよう! 新城のステキ」を学ぶために千枚田を訪れた。その時の礼文(文集)を戴いたので無作為に二人を選び、原文のまま氏名は伏せて紹介させていただきます。

○とても寒いじきになりました。お元気ですか。先日はいろいろなことを教えていただきありがとうございます。しょう和45年に米を作ってはいけいと言われて、今年米が少なくてねだんがこうとうしていてこ泉のうすいだいじんがそのじようきようをええようとしてくれましたがあまり変わらなくて、今のじようきようがしょう和45年ならいいなあ、と思いました。僕はかかしがリアルなどでどうやって作っているのか気になりました。

三年松組

○さわやかな秋風がふくころになりました。元気ですか。先日はたくさんのおしえてくださりあ

りがとうございました。ぼくがおどろいたことは2つあって1つめは田んぼの枚数が1296まいあったのに国にへらせといわれて373まいにしてから420まいにふやしたことです。2つめは420まいの田んぼを20人で管理していることです。

三年梅組

## 初雪

十二月四日、未明から降り出した雪が千枚田をうっすら雪化粧した。昨年より廿日も早く初冠雪。寒い冬の到来か:いやだノン



行 令和七年十二月十五日  
鞍掛山麓千枚田保存会  
文 責 小山舜二

発